



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL http://www.terumo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	259,167	11.1	39,102	18.5	35,758	5.1	27,012	23.5
27年3月期第2四半期	233,309	3.2	32,990	8.3	34,039	15.1	21,879	12.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 23,117百万円 (△46.5%) 27年3月期第2四半期 43,173百万円 (18.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	71.50	66.90
27年3月期第2四半期	57.62	57.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	973,229	577,332	59.3	1,535.97
27年3月期	992,073	573,523	57.8	1,513.73

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 577,123百万円 27年3月期 573,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	14.50	—	16.00	30.50
28年3月期	—	19.00	—	—	—
28年3月期 (予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日 (平成27年11月5日) 公表いたしました「剰余金の配当および配当予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	525,000	7.3	76,000	12.7	73,000	3.2	48,500	26.1	128.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・下期想定レート； 1ドル=120円、1ユーロ=130円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料]5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	379,760,520株	27年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,021,890株	27年3月期	931,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	377,798,761株	27年3月期2Q	379,746,121株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)における医療市場は、海外では中国においてマクロ経済の成長減速による装置など医療資本財への投資に一部影響がみられました。また、米国ではオバマケアによる被保険者数の増加もあり、医療需要が拡大しつつあります。日本では政府の骨太方針2015が発表され、後発医薬品の数量シェア目標が設定されるなど、医療費抑制へ向けた取組みが続いています。また、9月には昨年施行された医薬品医療機器法の下、再生医療等製品として申請中だった当社の自己<ヒト>骨格筋由来細胞シート「ハートシート」が初めて条件及び期限付承認を得ました。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に持続的かつ収益性のある成長を目指して経営を推進しております。

各カンパニーにおける主なポイントは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、カテーテル (IS) 事業やニューロバスキュラー (脳血管) 事業が海外で大きく伸長しました。薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」は、欧州、アジア、中南米いずれの地域においても引き続き売上を伸ばしました。
- ホスピタルカンパニーは、ドラッグ&デバイス (D&D) 事業など高収益事業の拡大や製造原価の改善を進め、収益性向上に努めました。
- 血液システムカンパニーは、アフェレシス治療分野や細胞処理システム分野の売上を拡大するとともに、新興国を中心に成分採血システム関連製品の販売が堅調でした。

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比11.1%増の2,592億円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上高	233,309	259,167	11.1	4.7
売上総利益	122,939	139,357	13.4	8.1
営業利益	32,990	39,102	18.5	20.0
経常利益	34,039	35,758	5.1	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21,879	27,012	23.5	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	89,424	90,343	1.0	1.0
欧州	50,739	50,347	△0.8	1.1
米州	57,982	71,969	24.1	5.9
アジア他	35,162	46,506	32.3	17.2
海外計	143,885	168,823	17.3	7.0
合計	233,309	259,167	11.1	4.7

日本では、ホスピタルカンパニー関連で、前年度の消費税増税など市場環境による需要変動の影響も一巡したこともあり、前年同期比1.0%増の903億円となりました。海外では欧米及びアジアのIS事業とニューロバスキュラー事業の大幅な伸長や、血液システムカンパニーの新興国を中心とする売上拡大により、前年同期比17.3%増の1,688億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、海外における高付加価値製品の拡大が寄与し、前年同期比13.4%増の1,394億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を上回ったことにより、前年同期比18.5%増の391億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加と為替差損の結果、前年同期比5.1%増の358億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却に伴う特別利益もあり、前年同期比23.5%増の270億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	106,834	125,542	17.5	8.3
	(日本)	23,466	22,774	△2.9	△2.9
	(海外)	83,367	102,768	23.3	11.4
ホスピタルカンパニー	売上高	78,394	80,830	3.1	1.2
	(日本)	59,924	62,004	3.5	3.5
	(海外)	18,469	18,825	1.9	△6.3
血液システムカンパニー	売上高	48,081	52,794	9.8	2.6
	(日本)	6,033	5,564	△7.8	△7.8
	(海外)	42,047	47,230	12.3	4.1

<心臓血管カンパニー>

日本では、IS事業において、競合動向など市場環境の一時的な変化に伴い、冠動脈及び末梢動脈疾患用ステントの売上が減少し、前年同期比2.9%の減収となりました。海外では、薬剤溶出型冠動脈ステント

「Ultimaster」が欧州他で引き続き売上を拡大し、米国ではTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）関連製品の拡大に加え、6月に販売を開始した末梢動脈疾患用ステントが好調な滑り出しを見せました。ニューロバスキュラー事業は欧米、中国など各地域で売上を大きく伸ばしました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比17.5%増の1,255億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、輸液システムやプレフィルドシリンジなど高付加価値製品の売上拡大もあり、前年同期比3.5%の増収となりました。海外では、低収益ビジネスの縮小や高付加価値製品の販売に努め、前年同期比1.9%の増収となりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.1%増の808億円となりました。

＜血液システムカンパニー＞

日本では、献血数の減少傾向が続く環境の中、採血時に使用される関連製品の需要に影響があり、減収となりました。一方、海外では、アフェレシス治療分野と細胞処理システム分野の高付加価値製品の売上拡大や新興国を中心に成分採血システムの販売が堅調に推移しました。また、米国で新価格移行が当初計画よりずれ込んだこともあり、売上が当初見込みを上回りました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比9.8%増の528億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ188億円減少して9,732億円となりました。

流動資産は現金及び預金の増加等により、52億円増加して4,176億円となりました。

固定資産は、252億円減少して5,506億円となりました。有形固定資産は7億円増加、無形固定資産はのれんの償却等により138億円減少、投資その他の資産は投資有価証券の売却等により121億円減少となりました。

(負債)

負債の部は、未払法人税等及び仕入債務の減少等により、227億円減少して3,959億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、38億円増加して5,773億円となりました。これは主に、自己株式の取得による減少110億円及び親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加270億円等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し、59.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

医療機器を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が予測されますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような事業環境の中、目標を達成するため、医療の安全性や効率性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入及び拡大、さらなる製造原価の改善への取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首において、のれん3,135百万円及び資本剰余金1,175百万円が減少するとともに、利益剰余金が1,220百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ96百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,679	140,752
受取手形及び売掛金	104,944	102,593
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	65,295	62,090
仕掛品	10,228	10,157
原材料及び貯蔵品	25,948	29,235
繰延税金資産	13,949	14,149
その他	13,871	10,183
貸倒引当金	△1,458	△1,520
流動資産合計	412,458	417,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,783	65,638
機械装置及び運搬具（純額）	45,616	50,396
土地	22,023	23,704
リース資産（純額）	895	862
建設仮勘定	39,029	28,778
その他（純額）	10,147	9,841
有形固定資産合計	178,496	179,223
無形固定資産		
のれん	166,990	158,088
顧客関連資産	103,217	99,828
その他	61,781	60,254
無形固定資産合計	331,990	318,171
投資その他の資産		
投資有価証券	45,461	33,462
繰延税金資産	259	294
退職給付に係る資産	6,786	6,228
その他	12,847	13,226
投資その他の資産合計	65,355	53,211
固定資産合計	575,842	550,606
繰延資産		
繰延資産合計	3,772	4,980
資産合計	992,073	973,229

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,484	34,376
短期借入金	364	242
1年内返済予定の長期借入金	5,417	5,398
リース債務	208	157
未払法人税等	19,714	11,553
繰延税金負債	105	75
賞与引当金	5,560	5,529
役員賞与引当金	142	67
設備関係支払手形及び未払金	8,667	4,384
その他	51,282	46,016
流動負債合計	129,947	107,801
固定負債		
社債	40,000	40,000
転換社債型新株予約権付社債	100,233	100,209
長期借入金	79,141	80,568
リース債務	278	229
繰延税金負債	50,013	47,806
役員退職慰労引当金	66	66
退職給付に係る負債	7,020	7,053
資産除去債務	233	234
その他	11,615	11,927
固定負債合計	288,602	288,094
負債合計	418,550	395,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	50,928
利益剰余金	383,317	403,048
自己株式	△3,035	△14,036
株主資本合計	471,102	478,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,910	14,306
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	89,043	87,390
退職給付に係る調整累計額	△3,611	△3,230
その他の包括利益累計額合計	102,341	98,466
新株予約権	78	121
非支配株主持分	—	88
純資産合計	573,523	577,332
負債純資産合計	992,073	973,229

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	233,309	259,167
売上原価	110,370	119,809
売上総利益	122,939	139,357
販売費及び一般管理費	89,948	100,255
営業利益	32,990	39,102
営業外収益		
受取利息	235	348
受取配当金	184	228
受取ロイヤリティー	95	96
為替差益	2,467	—
その他	677	523
営業外収益合計	3,659	1,198
営業外費用		
支払利息	502	694
売上割引	339	209
為替差損	—	2,386
持分法による投資損失	5	157
たな卸資産処分損	243	38
その他	1,519	1,054
営業外費用合計	2,610	4,541
経常利益	34,039	35,758
特別利益		
固定資産売却益	130	4,819
投資有価証券売却益	—	776
債務勘定整理益	1,905	—
特別利益合計	2,035	5,596
特別損失		
固定資産処分損	397	193
減損損失	1,225	799
関係会社整理損	371	—
特別損失合計	1,993	992
税金等調整前四半期純利益	34,081	40,362
法人税、住民税及び事業税	11,858	14,757
法人税等調整額	343	△1,392
法人税等合計	12,201	13,364
四半期純利益	21,879	26,997
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,879	27,012

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
四半期純利益	21,879	26,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,691	△2,604
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	18,663	△1,654
退職給付に係る調整額	△65	380
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△2
その他の包括利益合計	21,293	△3,880
四半期包括利益	43,173	23,117
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,173	23,134
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、当第2四半期連結累計期間において自己株式が10,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	106,834	78,394	48,081	233,309	—	233,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	106,834	78,394	48,081	233,309	—	233,309
のれん等償却除くセグ メント利益	21,515	9,606	9,252	40,375	942	41,317
セグメント利益	20,660	9,606	1,782	32,048	942	32,990
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	20.1	12.3	19.2	17.3	—	17.7

(注) 1. セグメント利益の調整額942百万円には、たな卸資産の調整額213百万円、その他728百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,225百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	125,542	80,830	52,794	259,167	—	259,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	125,542	80,830	52,794	259,167	—	259,167
のれん等償却除くセグ メント利益	29,284	11,724	9,977	50,986	△1,668	49,317
セグメント利益	28,376	11,724	670	40,770	△1,668	39,102
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	23.3	14.5	18.9	19.7	—	19.0

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,668百万円には、たな卸資産の調整額△779百万円、その他△889百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては664百万円であります。

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては134百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当該変更を反映したものを開示しております。